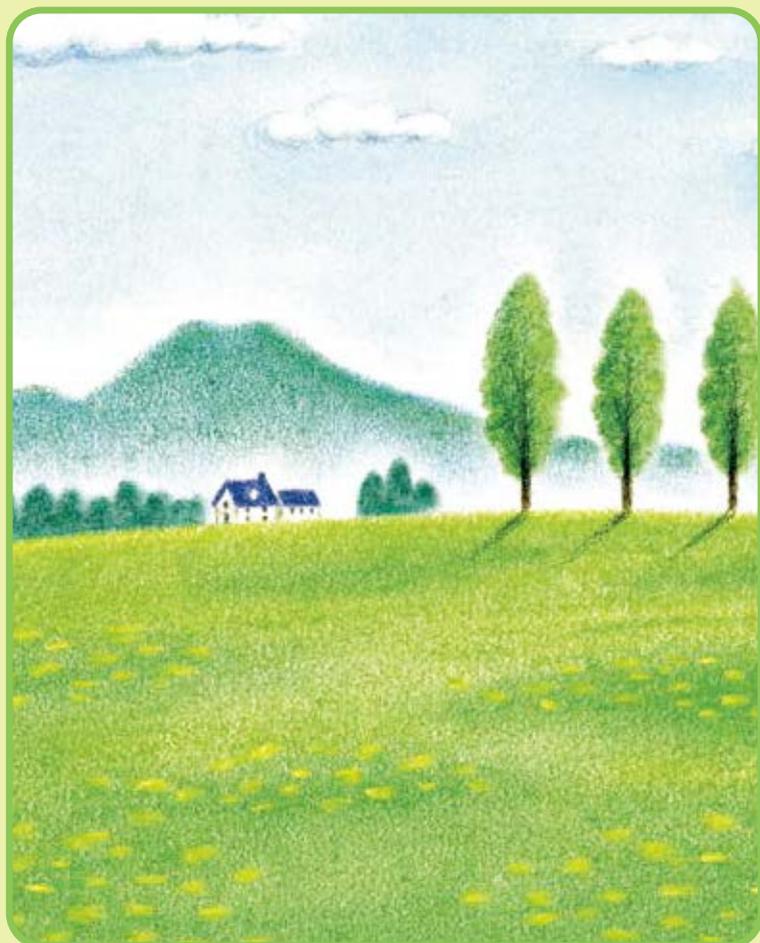


療養の手引



この本を手にされたあなたへ

今、この本を手にされたあなたは

「まさか？」…

「どうして私が？」…

「これから、どうしよう…」と

不安な気持ちでいらっしゃることでしょ。

……………

ご心配はいりません。ほとんどの結核は、きちんと治療が終了するまで確実に薬を服薬し、生活を整えることで治ります。

保健所は、あなたの療養生活を治療が終了するまで支援します。

お1人で悩まずに、遠慮なく、保健所や病院にご相談下さい。



目次

I 結核という病気を知ろう

結核の主な症状は？	1
結核はどうやって起こる病気ですか？	2
いつ結核に感染したのでしょうか？	3

II 結核を治すために

1 結核治療の基本

入院が必要と言われました。どうしてですか？	4
結核の治療はどのように行うのでしょうか？	5
症状が消えたので薬は飲まなくてもいいですか？	6
薬の副作用を疑うとき、どうしたらいいでしょう？ ..	7

2 結核菌の検査にはどのようなものがあるのでしょうか？ ... 8

3 治療に関わる主な機関の紹介 9 |

治療中の気がかりQ&A	10
-------------------	----

4 治療終了後の健診

治療が終わっても健診は必要でしょうか？	13
経過観察が終われば安心ですか？	13

Ⅲ 結核の広がりを防ぐために

- 1 周囲の人に結核が感染することはありますか？ …… 14
- 2 接触者健診は、なぜ必要なのでしょう？ …… 15
- 3 接触者健診ではどのような検査を行いますか？ …… 17
- 4 結核の感染（潜在性結核感染症）がわかったら。 …… 18

Ⅳ 保健所に相談しましょう

- 1 結核治療の基本的な流れを説明します。 …… 20
 - 2 保健所はあなたの療養を支援します。 …… 21
 - 3 結核医療費には、公費負担の制度があります。 …… 22
- 保健所一覧 …… 24

I

結核という病気を知ろう

結核の主な症状は？

肺結核は最初のうちは症状がほとんどありません。病気が進行すると、せき、たん、発熱（微熱）、体のだるさ、食欲低下などの症状がでます。かぜの症状に似ているため、症状が出始めてからも結核になったことに気付かずに、結核の発見が遅れることもあります。

あなたが症状に気付いたのはいつですか？

2週間以上続くせき・たん・発熱は、結核の注意症状です。



【結核は決して過去の病気ではありません。】

現在でも、毎年全国で約 1 万 8 千人、東京都で約 2,300 人の方が新たに結核を発病しています。

特に、東京都では、高齢の方の発病に加えて、若い世代の患者さんが多いのが特徴です。

結核はどうやって起こる病気ですか？

結核菌が体の中に入ることによって起こる病気です。

結核菌は自分では動けません。せきをすると飛沫（しぶき）が飛び散ります。

結核の患者さんの飛沫には、結核菌が含まれていることがあります。それを周囲の人が吸い込むことにより感染します。

また、飛沫の周りの水分が乾燥・蒸発した状態（飛沫核）でも、結核菌は生き続け、空気中を漂います。この飛沫核を吸い込むことによって感染することもあります。

多くの場合は、結核菌が体に入っても体の抵抗力により追い出されます。結核菌が追い出されず、体内に残っている状態を「感染」といいます。

そして、「感染」後、結核菌が体内で活動し始めると病巣ができ、せきやたん、発熱などの症状が現れます。

これを「発病」といいます。ただし、「発病」する人は感染した10人のうち、1人が2人といわれており、感染した人全員が発病するわけではありません。



【結核は肺以外でも起こります。】

結核の約9割が肺の結核です。ただし、血液やリンパの流れによって骨やじん臓、皮膚などに病気が起きることもあります。全身のほとんどの臓器が結核に冒されるおそれがあるのも、結核の特徴です。

特に乳幼児は、重症の結核性髄膜炎を起こすこともあり、その予防としてBCG接種が行われています。

いつ結核に感染したのでしょうか？

結核は感染しても、すぐには発病しません。感染から発病までの期間にとっても幅があるのが、結核の特徴です。

多くの場合、結核は感染して半年から2年位の間に発病します。

しかし、何年、何十年もたってから発病する人もいれば、一生発病しない人もいます。

今回、あなたが結核といわれたのは、最近、結核菌を吸い込んで感染し発病したのかもしれませんが、あるいは過去に感染しており、今、発

病したのかもしれません。

結核がまん延していた1950年代に青春期を過ごした大部分の方は、結核の感染を受けており、結核に対する免疫を獲得していますが、病気や加齢により免疫が低下すると、休止していた菌が活動を再開して発病したり、新たに感染して発病することもあります。

【この機会にあなたの生活を見直してみませんか？】

結核の発病には、ストレスも関連があるようです。

これまでの生活で、体と心の無理を続けていませんか？

体の抵抗力を維持できるよう、そしていきいきと過ごせるよう、体と心にゆとりのある生活を考えてみませんか？

